

基準 4 学生の受入

(1) 観点ごとの分析

観点 4-1-①: 教育の目的に沿って、求める学生像及び入学者選抜の基本方針等の入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)が明確に定められ、学校の教職員に周知されているか。また、将来の学生を含め社会に理解されやすい形で公表されているか。

(観点に係る状況)

教育目的(資料 4-1-①-1)に沿ってアドミッション・ポリシーは明文化されており、学生募集要項(資料 4-1-①-2)やウェブサイト(資料 4-1-①-3)、学校概要(資料 4-1-①-4)に掲載され、社会に対して公表されている。

資料 4-1-①-1

学生募集要項に記載された準学士課程の教育目的

教育目的

豊かな人間性を備え、社会の要請に応じて工学技術の専門性を創造的に活用できる技術者の育成を行い、もって地域の文化と産業の進展に寄与すること。

(出典 平成 23 年度学生募集要項)

資料 4-1-①-2

学生募集要項に記載された準学士課程の学生受入方針

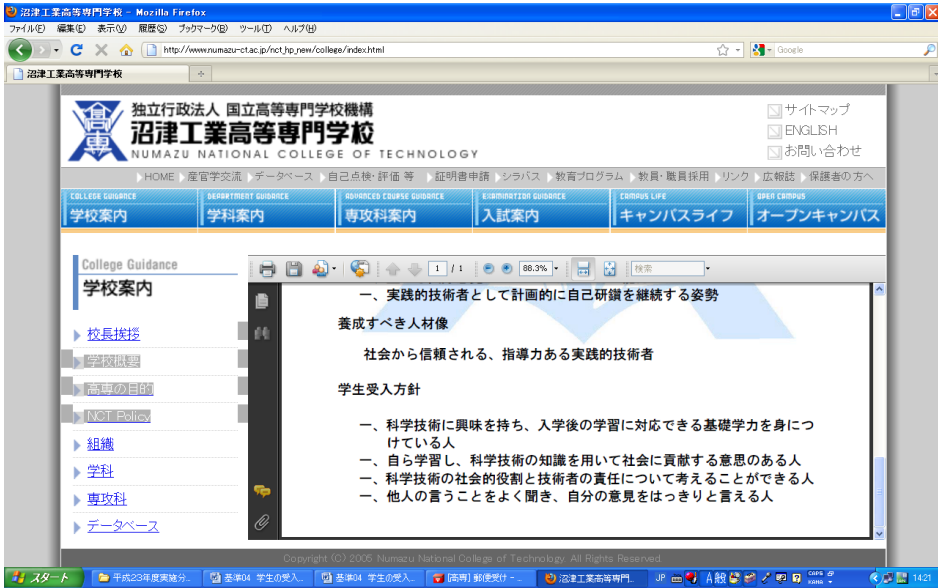
学生受入方針

- 1 科学技術に興味を持ち、入学後の学習に対応できる基礎学力を身に付けている人
- 2 自ら学習し、科学技術の知識を用いて社会に貢献する意思のある人
- 3 科学技術の社会的役割と技術者の責任について考えることができる人
- 4 他人の言うことをよく聞き、自分の意見をはっきりと言える人

(出典 平成 23 年度学生募集要項)

資料 4-1-①-3

ウェブサイトに掲載された準学士課程の学生受入方針



The screenshot shows a web browser displaying the website of Numazu National College of Technology. The page title is '沼津工業高等専門学校' (Numazu National College of Technology). The main content area is titled 'College Guidance' and '学校案内' (School Information). Under '学校案内', there is a sub-section for '学生受入方針' (Admission Policy). The text on the page reads: '一、実践的技術者として計画的に自己研鑽を継続する姿勢 養成すべき人材像 社会から信頼される、指導力ある実践的技術者 学生受入方針 一、科学技術に興味を持ち、入学後の学習に対応できる基礎学力を身に付けている人 一、自ら学習し、科学技術の知識を用いて社会に貢献する意思のある人 一、科学技術の社会的役割と技術者の責任について考えることができる人 一、他人の言うことをよく聞き、自分の意見をはっきりと言える人'.

(出典 本校公式ウェブサイト)

資料 4-1-①-4

学校概要に掲載された準学士課程の学生受入方針

● 養成すべき人材像

社会から信頼される、指導力ある実践的技術者

● 各科教育目的

● 教養科

専門学科の教科を学ぶに必要な基礎学力を身に付けさせ、健全な技術者に求められる幅広い教養と人間性を育成すること。

● 機械工学科

機械の開発・設計・製造の分野において、自ら考え行動できる実践的な技術者を養成すること。

● 電気電子工学科

電気エネルギー・エレクトロニクス・情報通信の開発・設計・製造・運用の分野において、自ら考え行動できる実践的な技術者を養成すること。

● 電子制御工学科

電気・機械・情報工学のシステム統合技術の分野において、自ら考え行動できる実践的な技術者を養成すること。

● 制御情報工学科

コンピュータを応用したシステムの設計・製造・運用の分野において、自ら考え行動できる実践的な技術者を養成すること。

● 物質工学科

化学工業・ファインケミカル・食品工業等の生産技術や研究開発の分野において、自ら考え行動できる実践的な技術者を養成すること。

● 学生受入方針

- 1 科学技術に興味を持ち、入学後の学習に対応できる基礎学力を身につけている人
- 2 自ら学習し、科学技術の知識を用いて社会に貢献する意思のある人
- 3 科学技術の社会的役割と技術者の責任について考えることができる人
- 4 他人の言うことをよく聞き、自分の意見をはっきりと言える人



(出典 平成 23 年度本校学校概要)

また、中学校訪問や進学説明会（資料 4-1-①-5），一日体験入学の際の説明会等においても準学士課程のアドミッション・ポリシーを説明している。

資料 4-1-①-5

進学説明会資料に掲載された準学士課程の学生受入方針

学生受入れ方針（アドミッションポリシー）

- ・ 科学技術に興味を持ち、入学後の学習に対応できる基礎学力を身につけている人
- ・ 自ら学習し、科学技術の知識を用いて社会に貢献する意思のある人
- ・ 科学技術の社会的役割と技術者の責任について考えることができる人
- ・ 他人の言うことをよく聞き、自分の意見をはっきりと言える人

(出典 平成 23 年度進学説明会資料抜粋)

高校からの編入学に関しても受入方針を明文化し、編入学案内（4-1-①-6）およびウェブサイトに掲載している。

資料 4-1-①-6

編入学生募集要項に掲載された学生受入方針

入学案内

工業高等専門学校は「深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成する。」ことを目的とし、豊かな教養と専門の技術を身につけた実践的な技術者の育成を使命としており、中学校卒業程度を入学資格とする5年制の一貫教育を行う国立の高等教育機関（大学等）です。

本校では、理論的な基礎とともに、実験・実習を重視し、実践的エンジニアを養成しており、卒業生は希望になかった会社へ就職でき、また、更に深く勉強したい人には、大学の3学年への編入学、高専専攻科への道が開かれています。

1. 沼津工業高等専門学校編入学生受け入れ方針

本校は以下の条件を満たす有資格者の高専4学年又は3学年への編入学を受け入れます。

- (1) 技術者になるという明確な意志があること。
- (2) 将来は技術者として社会に貢献しようとする姿勢があること。
- (3) 科学技術の諸問題に対する強い関心を持っていること。
- (4) 数学、英語、および編入学希望先の学科が要求する理科系科目、の基本的な学力を有していること。
- (5) 高等学校における工業教育、もしくは自然科学教育の教科目において、継続的な学習を行ってきた経験があること。
- (6) 社会および本校のルールを遵守する倫理観を有すること。

(出典 平成 23 年度編入学生募集要項)

専攻科課程の受入方針は「専攻科入学者選考規程」（4-1-①-7）により明文化され、専攻科募集要項（4-1-①-8）及びウェブサイトを通じて公開されている。

また、教職員の周知度に関するアンケート調査を行って、教職員への周知度の程度を調査している（4-1-①-9）。

資料 4-1-①-7

専攻科入学者選考規程（抜粋）

（選考方針）

第2条 専攻科は、当該専攻科の目的を達成し、及び教育目標を実現するため、当該専攻科へ入学を志願する者のうちから、次に掲げる意欲、学力、及び経験有するものを選考するものとする。

1. 広い視野と深い専門性を身につけた技術者として、将来、社会の発展及び公衆の福祉に寄与する意欲を持った者
2. 数学、自然科学、及び英語に関し、工学教育を受けるために必要な学力有する者
3. 基礎的な工学の方法について、一定の指導と訓練を受け、一定の期間にわたって実践した経験を有する者

(出典 本校規則集)

資料 4-1-①-8

専攻科生選抜方針

7 入学者受入れ方針

本専攻科への入学者に、以下の意欲、学力、及び経験を具備していることを要請します。

- (1) 広い視野と、深い専門性を身につけた技術者として、社会の発展、公衆の福祉に寄与したいという意欲
- (2) 数学、自然科学、及び英語に関して、工学教育を受けるために必要な学力
- (3) 基礎的な工学の方法について、一定の指導と訓練を受け、初歩的ではあっても、一定の期間にわたって実践した経験

(出典 平成 24 年度専攻科学生募集要項)

資料 4-1-①-9

教職員のアドミッションポリシーの周知度に関するアンケート調査結果

(設問 7) 本校の「アドミッションポリシー」を知っていますか。

<回答>

1. 全く知らない
2. 見聞きしたことはある
3. ある程度の内容まで知っている
4. よく内容を知っている

(設問 8) 本校専攻科の「入学者受入れ方針」を知っていますか。

<回答>

1. 全く知らない
2. 見聞きしたことはある
3. ある程度の内容まで知っている
4. よく内容を知っている

(%)

		技術職員	事務職員	常勤教員	非常勤教員
準学士 課程	よく知っている	8.3	17.4	50	9.1
	ある程度知っている	58.3	13	35.4	36.4
	見聞きしたことはある	33.3	60.9	6.3	21.2
	全く知らない	0	8.7	8.3	30.3
専攻科 課程	よく知っている	8.3	8.7	41.7	6.1
	ある程度知っている	25	21.7	33.3	27.3
	見聞きしたことはある	25	39.1	22.9	36.4
	全く知らない	41.7	30.4	2.1	30.3

(出典 平成 23 年 2 月実施 「本校の目的の周知等」に関する調査アンケート結果抜粋)

(分析結果とその根拠理由)

各段階のアドミッション・ポリシーは全て明文化され、冊子、ウェブサイト、口頭の対面プレゼンテーションなど多様な手段を通じて、社会に対してわかりやすい形で公表されている。一方、教職員に対しては、アドミッション・ポリシーの周知状況を把握するためにアンケート調査を実施しているが、アンケート結果から常勤教員の周知度が比較的高いものの、非常勤教員や事務職員、技術職員の周知度が十分ではないので、さらなる周知の徹底を図る必要がある。

観点 4-2-①： 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）に沿って適切な学生の受入方法が採用されており、実際の入学者選抜が適切に実施されているか。

（観点に係る状況）

準学士課程の学力選抜については、学力試験は全国の国立高専で統一の問題を使用することになっている。その中でこれまで、アドミッション・ポリシーを反映させる意図で、社会の代わりに数学の配点を2倍にする「傾斜配点」と面接を行ってきたが（資料4-2-①-1）、入試改善作業の中で、学力試験の得点と本校入学1年後の学業成績との関連の分析結果（後出資料4-2-②-5）等から、より本校に適性のある入学者を確保する観点で、平成24年度入試より傾斜配点と面接の代わりに、学力検査に社会を含めて実施する予定である。

さらに、調査書記載事項（特別活動の実績等）を点数化する際にもアドミッション・ポリシーを反映している（資料は訪問調査において提示）。

準学士課程の推薦選抜については、上記学力選抜と同様、面接での口頭試問の内容及び調査書記載事項の点数化にアドミッション・ポリシーを反映しているほか、適性テスト（資料4-2-①-2）を実施してより確実な反映を図っている。

高校からの編入学についても、資料4-1-①-6の受入れ方針（1）～（3）については面接による口頭試問で、（4）については数学、英語の共通試験で、（5）については各学科が行う専門試験で、そして（6）については面接によって、それぞれ確認している（資料4-2-①-3）。

専攻科課程の選抜についても、資料4-1-①-8の選抜方針（1）を面接で、（2）を学力試験で、そして（3）を口頭試問でそれぞれ確認している（資料4-2-①-4）。

資料4-2-①-1

傾斜配点（平成23年度）

4. 判定方法

選抜は、学力検査（数学・理科・英語・国語）、出身（在学）中学校長から提出された入学志願者調査書及び面接結果の総合判定によります。

学力検査、調査書及び面接の配点は、次のとおりです。

学力検査		調査書（内申点）	面接
計	500点	320点	10点
数学	200点	5教科（25点満点）×8 他の4教科（20点満点）×6	面接員3名による総合評価
理科	100点		
英語	100点		
国語	100点		

（出典 平成23年度学生募集要項）

資料 4-2-①-2

適性テスト見本 (抜粋)

沼津工業高等専門学校 推薦選抜適性テスト試行 高専祭版

1. 以下の文のうち、誤っているものはどれか。A から D の中から選べ。

- A. 0 は整数に含まない。
- B. 0 より大きい数は正の数である。
- C. -5 は負の数である。
- D. 正の整数のことを自然数という。

(出典 本校公式ウェブサイト)

資料 4-2-①-3

高校からの編入学試験の実施方法

6. 選 抜 方 法

その結果に基づき、4 学年合格又は 3 学年合格とする。編入学生の選抜は、学力検査、調査書及び面接等の結果を総合して行う。

学力検査

共通科目

検査科目	出 題 範 囲	配 点
数 学	数学 I ・ 数学 A ・ 数学 II	100点
英 語	英語 I ・ 英語 II (第 3 学年第 1 学期終了程度)	100点

専門科目

志願学科	検査科目及び出題範囲	配 点
機 械 工 学 科	物理 I (波・運動とエネルギー) 物理 II (力と運動・電気と磁気)	100点
電気電子工学科	電気基礎	100点
電子制御工学科	物理 I (波・運動とエネルギー) 物理 II (力と運動・電気と磁気) 電気基礎	100点
制御情報工学科	「物理 I」全範囲・「物理 II」(力と運動・電気と磁気)	100点
物 質 工 学 科	化学 I ・ 化学 II (課題研究を除く)	100点

7. 検 査 日 時

期 日	時 間			
8月9日(月)	9 : 20 ~ 10 : 50	11 : 10 ~ 12 : 10	13 : 00 ~ 14 : 30	15 : 30 ~
	数 学	英 語	専門科目	面 接

(出典 平成 23 年度編入学生募集要項)

専攻科入学試験の実施方法

2 学力試験科目及び出題範囲等（不明な点は、本校学生課入試係まで問い合わせること）

- (1) 英語
- (2) 数学ⅠC 50問
- (3) 選択科目
数学ⅡC、物理学、化学から、1科目を選択
数学ⅡCは50問、物理学は70問、化学は85問
- (4) 学力試験実施については、英語はTOEICで350点以上を目安とする。数学ⅠC、数学ⅡC、物理学、化学とも技術士1次試験共通科目、及びSATⅡ Subject Testに準じるレベルで行う。
- (5) 配点 600点満点
(内訳) 英語 100点、数学ⅠC 100点、選択科目 100点
面接・口頭試問 200点、成績証明書 100点

3 面接・口頭試問

- (1) 自己申告書に基づいて面接・口頭試問を行うので受験者は自己申告書に以下の内容を記入する。
 - ①専攻科を受験する動機（やりたいこと）
 - ②基礎的な工学の実践経験（高専・短大で行った工学の実験実習等について）
 - ③世界に発信できることは何か
 - ④専攻科を修了してからの希望
- (2) 口頭試問については、志望する専門分野に係る事項及び用語（英語を含む）について質問する。
- (3) 他教育プログラム（本校以外）からの受験者は、出身学校における学習内容についても質問する。

（出典 平成 24 年度専攻科学生募集要項）

（分析結果とその根拠理由）

各段階の選抜において、それぞれアドミッション・ポリシーに基づいた選抜手段が可能な限り講じられている。

以上のことから、入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）に沿って適切な学生の受入方法が採用されており、実際の入学者選抜が適切に実施されている。

観点 4-2-②： 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）に沿った学生の受入が実際に行われているかどうかを検証するための取組が行われており、その結果を入学者選抜の改善に役立てているか。

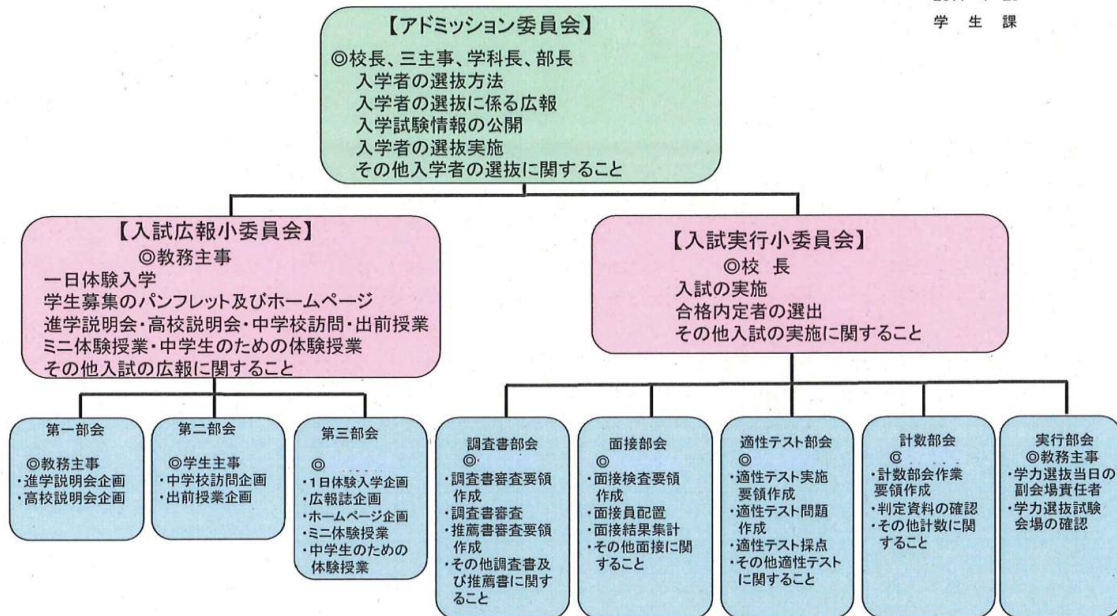
（観点に係る状況）

準学士課程では入試関係組織としてアドミッション委員会の下に入試広報小委員会と入試実行小委員会が組織され、さらにその下に8つの部会が組織されている（資料 4-2-②-1）。専攻科にも入試実行委員会が存在する。アドミッション委員会と専攻科入試実行委員会において、各年度の入試について準備から段階的に検討が重ねられており、前年度の検証・反省を活かして改善策を講じている（資料 4-2-②-2, 3）。さらに、入学試験の成績と、本校入学1年後の学業成績の相関を分析するなどして、学生の資質等を検証している（資料 4-2-②-4, 5）。

資料 4-2-②-1

入試関係の組織

2011-4-25
学 生 課



試験実施組織:本部要員、監督者、面接者、採点者、補助者

(出典 学生課作成資料)

資料 4-2-②-2

入試改善への取組状況

題名 平成23年度入学者選抜検査における改善意見等について(照会)
差出人 入試係 [redacted]

平成23年 3月2日

教職員各位

副校長(教務主事)

平成23年度入学者選抜検査における改善意見等について(照会)

標記のことについて、今回の入試を踏まえて各位からの反省点等をお聞かせいただき、今後の入試改善に役立てたいと存じます。

つきましては、改善意見等がございましたら添付ファイルにご記入いただき、3月10日(木)までに学生課入試係(nyuusi@numazu-ct.ac.jp)あてにお寄せいただきますようお願いいたします。

入試係 [redacted]@numazu-ct.ac.jp
内線 [redacted]

----- このメールにはファイルが添付されています -----

(出典 本校学内メール)

資料 4 - 2 - ② - 3

入試改善への取組状況

平成 22 年度 第 10 回 アドミッション 委員会 議事録

日 時 平成 23 年 3 月 23 日 (水) 16:00 ~ 17:40

場 所 校 長 室

出 席 者 校長、副校長 (教務主事)、校長補佐 (学生主事)、校長補佐 (寮務主事)
機械工学科長、電気電子工学科長、電子制御工学科長、制御情報工学科長、
物質工学科長、教養科長、調査書部会長、事務部長、学生課長

学生課長から、前回議事要録の確認があった。(記録のとおり確認)

議事要旨

1. 平成 23 年度入試結果概要について

副校長から、資料 1 に基づき結果概要 (学科別成績及び地区別受験者数等) について報告があった。

2. 入学志願者の確保対策について

校長から、資料 2 に基づき、入学志願者の確保対策案について説明があり、種々意見交換が行われ、次回アドミッション委員会で審議の上、決定することとした。

3. 平成 23 年度入試改善意見等について

副校長から、資料 3 に基づき改善意見等に対する対応案について説明があり、審議が必要となる事項については、今後、該当部署において検討を進めて行くこととした。

4. 推薦選抜における推薦書評価点について

〇〇調査書部会長から、資料 4 に基づき、推薦選抜における推薦書評価点の取り扱いについて、報告があった。

(出典 平成 23 年度第 10 回アドミッション委員会議事要録抜粋)

入試成績と1年時成績の比較分析結果（平成 21、22 年度入学生について）その 1

注記：平成 21 年度入学生は内申点 140 点満点であり、平成 22 年度入学生より内申点 320 点満点とした。

1. 内申点と1年学年末成績との相関

以下、図 1～図 5 の横軸は内申点（45 満点）、縦軸は学年末成績平均点（100 満点）である。

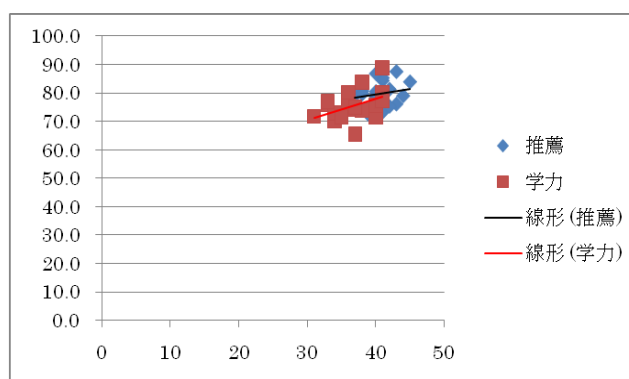
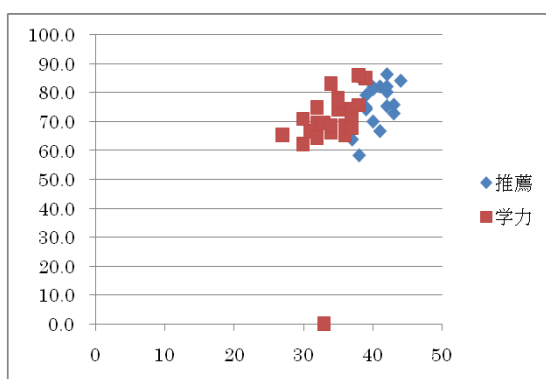


図 1 M1 （左：平成 21 年度 右：平成 22 年度入学生）

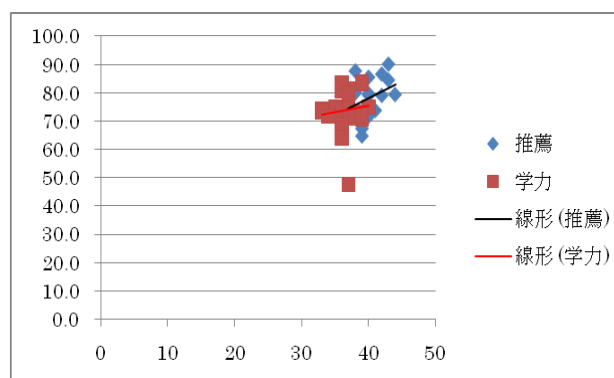
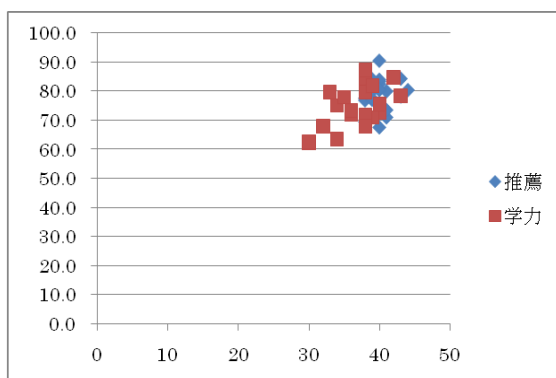


図 2 E1 （左：平成 21 年度 右：平成 22 年度入学生）

（図 3，4，5 は D1，S1，C1 に関する同様のグラフであり省略）

平成 21 年度と 22 年度の比較より読み取れる傾向

- 1) いずれの場合も内申点と学年末成績との間には正の相関があり、内申点の高い学生は入学後においても高成績を維持している傾向にある。
- 2) 平成 21 年度に比べ、平成 22 年度のほうが、内申点の低い（30 点近傍の）学生数が減っている。

（出典 平成 23 年度第 1 回アドミッション委員会資料抜粋）

入試成績と 1 年時成績の比較分析結果（平成 21、22 年度入学生について）その 2

2. 適性試験得点と 1 年学年末成績との相関

図 6 の横軸は適性試験得点（40 満点）、縦軸は学年末成績平均点（100 満点）

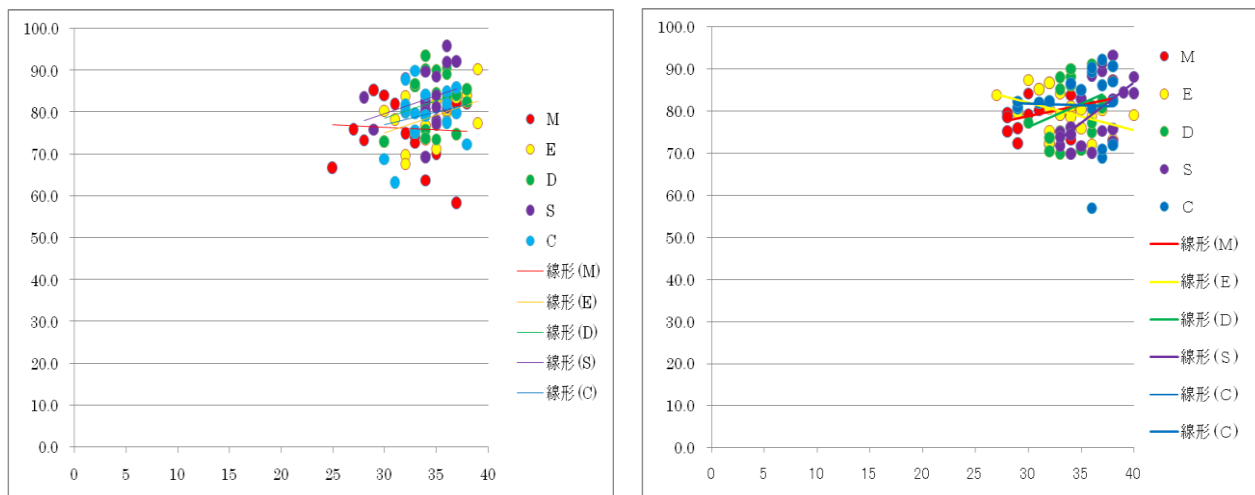


図 6 適性試験得点 VS 学年末成績平均点（左：平成 21 年度 右：平成 22 年度）

平成 21 年度、22 年度ともに、適性試験と学年末成績との間には正の相関があり、適性試験得点の高い学生は入学後においても高成績を維持している傾向にある。

3. 学力試験得点と 1 年学年末成績との相関

図 7 の横軸は学力試験得点（500 満点）、縦軸は学年末成績平均点（100 満点）

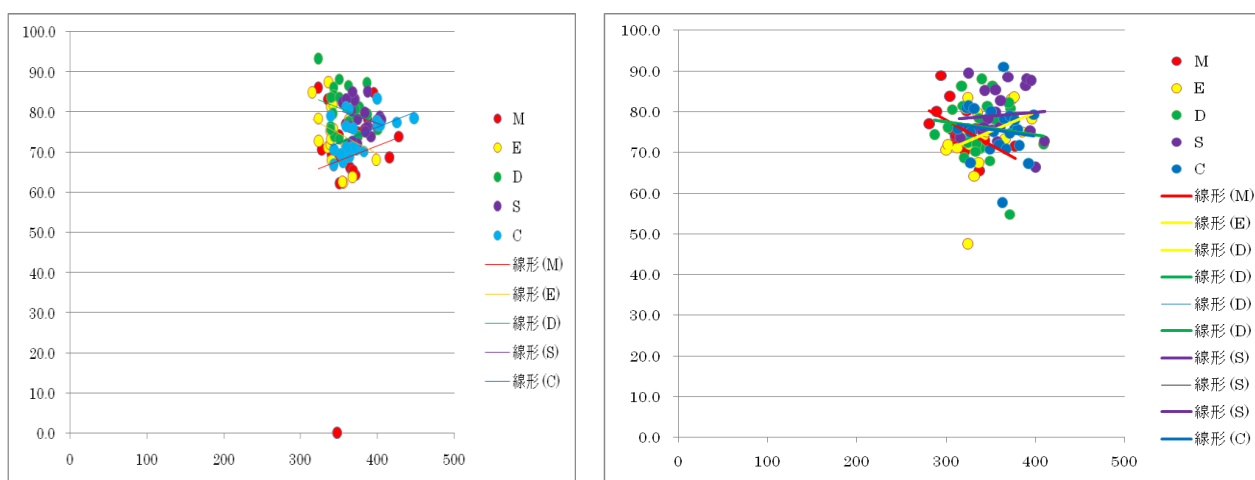


図 7 学力試験得点 VS 学年末成績平均点（左：平成 21 年度 右：平成 22 年度）

入試学力試験得点と学年末成績の間には正の相関は見られない。

以上

（出典 平成 23 年度第 1 回アドミッション委員会資料抜粋）

(分析結果とその根拠理由)

毎年のアドミッション委員会において必ず前年度の反省が行われ、その上に立った改善策が議論されており、入学志願者も定員の平均1.5～1.9倍を維持している。

アドミッション・ポリシーに沿った学生の受入が実際に行われているかどうかを検証するための取組が行われており、その結果を入学者選抜の改善に役立てているといえる。

観点 4-3-①： 実入学者数が、入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る状況になっていないか。また、その場合には、これを改善するための取組が行われる等、入学定員と実入学者数との関係の適正化が図られているか。

(観点に係る状況)

最近の実入学者数は、準学士課程においては入学定員を大幅に超える、又は下回る状況にはなっていない。専攻科課程において実入学者数が募集人員を超えている専攻があるが、専攻科全体では平均1.4～1.7倍程度であり、絶対数が少ないため教育活動上に特段の支障を生じていない(資料4-3-①-1)。準学士課程では、入学定員と実入学者数との間に大きな隔たりを生じないように、1日体験入学や高専祭での体験授業、各地での進学説明会を実施している(資料4-3-①-2)。また、入試広報用冊子「NCT Today 2010」を1万2千部、入試広報用リーフレット「NCT Today INTRODUCTION」を6万8千部作成し、県内外の中学校に送付し、リーフレットについては3年生全員への配布を依頼している。

資料 4-3-①-1

準学士課程および専攻科課程における過去5年間の学生入学状況

学 科	平成 19 年度				平成 20 年度			
	募集人員	志願者	入学者	倍率	募集人員	志願者	入学者	倍率
機 械 工 学 科	40(20)	60(24)	42(20)	1.4(1.2)	40(20)	81(19)	42(20)	1.9(1.0)
電 気 電 子 工 学 科	40(20)	59(19)	43(19)	1.4(1.0)	40(20)	69(19)	42(20)	1.6(1.0)
電 子 制 御 工 学 科	40(20)	65(26)	43(20)	1.5(1.3)	40(20)	76(30)	43(20)	1.8(1.5)
制 御 情 報 工 学 科	40(20)	55(30)	42(20)	1.3(1.5)	40(20)	77(30)	42(20)	1.8(1.5)
物 質 工 学 科	40(20)	75(36)	43(20)	1.7(1.8)	40(20)	78(43)	41(20)	1.9(2.2)
計	200(99)	314(135)	213(99)	1.5(1.4)	200(100)	381(141)	210(100)	1.8(1.4)

学 科	平成 21 年度				平成 22 年度			
	募集人員	志願者	入学者	倍率	募集人員	志願者	入学者	倍率
機 械 工 学 科	40(20)	68(13)	42(19)	1.6(0.7)	40(20)	63(20)	40(20)	1.6(1.0)
電 気 電 子 工 学 科	40(20)	69(15)	41(20)	1.7(0.8)	40(20)	74(20)	42(20)	1.8(1.0)
電 子 制 御 工 学 科	40(20)	69(27)	42(20)	1.6(1.4)	40(20)	71(22)	42(20)	1.7(1.1)
制 御 情 報 工 学 科	40(20)	82(29)	41(20)	2.0(1.5)	40(20)	69(31)	42(20)	1.6(1.6)
物 質 工 学 科	40(20)	81(41)	41(20)	2.0(2.1)	40(20)	71(34)	42(20)	1.7(1.7)
計	200(100)	369(125)	207(99)	1.8(1.3)	200(100)	348(127)	208(100)	1.7(1.3)

() は推薦選抜による内数

学 科	平成 23 年度			
	募集人員	志願者	入学者	倍率
機 械 工 学 科	40(20)	56(19)	41(20)	1.4(1.0)
電 気 電 子 工 学 科	40(20)	54(20)	41(20)	1.4(1.0)
電 子 制 御 工 学 科	40(20)	53(20)	42(20)	1.3(1.0)
制 御 情 報 工 学 科	40(20)	60(25)	42(20)	1.5(1.3)
物 質 工 学 科	40(20)	75(42)	42(20)	1.9(2.1)
計	200(100)	298(126)	208(100)	1.5(1.3)

() は推薦選抜による内数

専 攻 科	平成 19 年度			平成 20 年度		
	募集人員	志願者	入学者	募集人員	志願者	入学者
機械・電気システム工学専攻	8	29	13	8	25	11
制御・情報システム工学専攻	8	29	12	8	35	14
応用物質工学専攻	4	16	7	4	15	8
計	20	74	32	20	75	33

専攻科	平成 21 年度			平成 22 年度		
	募集人員	志願者	入学者	募集人員	志願者	入学者
機械・電気システム工学専攻	8	24	11	8	31	12
制御・情報システム工学専攻	8	27	11	8	34	16
応用物質工学専攻	4	21	8	4	9	5
計	20	72	30	20	74	33

専攻科	平成 23 年度		
	募集人員	志願者	入学者
機械・電気システム工学専攻	8	31	12
制御・情報システム工学専攻	8	27	12
応用物質工学専攻	4	4	3
計	20	62	27

(出典 平成 20～23 年度本校学校概要)

広報活動

7/31 Sat. 技術者・科学者を目指して!

OPEN CAMPUS 2010 沼津高専を見に来てください。

沼津高専 1日体験入学

- 三島駅北口・浜松駅より無料送迎バス運行。
- 寮の食事も体験できます。
- 個人での参加、保護者同伴での参加も大歓迎。
- 事前申込み不要。当日直接会場にお越しください。

進学説明会日程及び開催地

- 対象者／保護者・生徒・中学校教員
- 静岡・浜松会場には、駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

1	7月25日(日)	富士吉田市	富士吉田市市民ふれあいセンター 2階 大会議室 富士吉田市上吉田965-4 TEL.0555-22-1785
2	7月31日(土) 1日体験入学	沼津市	沼津工業高等専門学校 第一視聴覚教室 沼津市大岡3600 TEL.055-926-5962
3	9月4日(土)	小田原市	小田原市民会館 5階 第3会議室 小田原市本町1-5-12 TEL.0465-22-7146
4	9月11日(土)	島田市	島田市民総合施設(プラザおおるり3階) 中会議室 島田市中央町6-1 TEL.0547-36-7222
5	9月12日(日)	浜松市	静岡大学浜松キャンパス 情報学部 2号館1階 情13教室 浜松市中区城北3-5-1 TEL.053-478-1510
6	9月18日(土)	静岡市	B-nest 静岡市産学交流センター(ペガサート6階) プレゼンルーム 静岡市葵区御幸町3-21 TEL.054-275-1655
7	10月21日(木)	沼津市	沼津工業高等専門学校 第一視聴覚教室 沼津市大岡3600 TEL.055-926-5962
8	11月6日(土) 高専祭	沼津市	沼津工業高等専門学校 第一視聴覚教室 沼津市大岡3600 TEL.055-926-5962
9	11月7日(日) 高専祭	沼津市	沼津工業高等専門学校 第一視聴覚教室 沼津市大岡3600 TEL.055-926-5962

進学説明会

中学校の生徒さんをはじめ保護者及び教員の皆様に、本校の特色や入学選抜について、ご説明します。

進学相談コーナー

沼津高専への進学に関するご相談にお答えします。

各学科・専攻科紹介

各学科(機械工学、電気電子工学、電子制御工学、制御情報工学、物質工学)、教養科及び専攻科の内容等について、展示や実演等でご紹介します。

学内施設紹介


授業で使用する各施設(総合情報センター、語学演習室、実験室、実習工場)、図書館及び学生寮等を公開します。

学生会企画及びクラブ紹介

学生会による学校紹介、クラブ活動等を紹介します。

詳細はホームページをご覧ください。

www.numazu-ct.ac.jp



※資料請求・お問合せ先は 〒410-8501 沼津市大岡 3600 沼津工業高等専門学校学生課入試係 TEL.055-926-5962 E-mail:nyuusi@numazu-ct.ac.jp

11/6 Sat. 7 Sun. 高専祭 Campus festival

沼津高専に遊びに来てください。

●沼津駅北口、三島駅北口、下土狩駅より無料送迎バス運行。ぜひお誘い合わせの上ご利用ください。

進学説明会

ミニ体験授業

学科プロジェクト

ステージ企画

学年プロジェクト 学生が主体となった企画盛りだくさん!

学費・奨学金

●国立大学と比べて安い学費

沼津高専と工科大学との年間の学費を比較すると、沼津高専は国立大学の4割程度、私立大学の2割程度の安い学費で勉強できます。また、学生寮での生活費は寄宿料が月額700円、寮費が食事代・光熱水料を含めて月額34,550円(平成21年度実績)となっています。

	年間授業料(万円)	入学金(万円)
(工科系)私立大学	100.00程度	30.00程度
(工科系)国立大学	53.58程度	28.20程度
国立高専	23.46*	8.46

※1~3年は11.58万円

学生募集

●募集人員

- 機械工学科/40名
- 電気電子工学科/40名
- 電子制御工学科/40名
- 制御情報工学科/40名
- 物質工学科/40名
- 合計200名
- (各学科の募集人員の50%を推薦により選抜します。)

試験日程

選抜方法	出願期間	試験日	試験地	合格発表
推薦選抜	平成23年1月11日~13日	1月23日(日)	沼津	1月27日(休)内定 2月25日(金)
学力選抜	平成23年1月31日~2月4日	2月20日(日)	沼津・浜松	2月25日(金)

奨学金制度

●就学支援金制度

国立高専の場合、入学時より36カ月間(1年~3年)については年額118,800円の助成があります。また、保護者の所得によって、さらに加算される場合があります。

●授業料免除制度

就学支援金の対象とならない学生(原則として4年生以上)については、経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合には、授業料の支払免除や減額又は徴収を一定期間猶予する制度があります。毎年、前期・後期延べ50名程度が免除されています。

●奨学金制度

学業・人物ともに優秀、かつ、健康であり、経済的理由により著しく修学が困難である学生に対して、選考の上、独立行政法人日本学生支援機構より奨学金が貸与されます。年間70名程度がこの制度を利用しています。その他、地方公共団体・民間団体及び本校同窓会の育英資金等があります。

(出典 広報紙 NCT Today 2010)

(分析結果とその根拠理由)

準学士課程では、入学定員と実入学者数との関係は適正に管理されている。専攻科課程において専攻科の実入学者数が定員を超えている専攻があるが、これは同専攻を志願する者に比べて定員が僅少（8名）であるためであり、教育活動上特段の支障を生じていない。

活発に広報活動を行うことにより、入学定員と実入学者数との間の適正な関係が維持されている。

(2) 優れた点及び改善を要する点

(優れた点)

入学者選抜の全ての段階（準学士課程1年生、準学士課程3年生または4年生編入学、専攻科課程）においてアドミッション・ポリシーを明文化し、冊子、ウェブサイト、口頭のプレゼンテーションなど様々な手段を通じて、将来の構成員を含めた社会に対して周知を図る取組がなされている。

(改善を要する点)

事務職員や技術職員、非常勤教員に対するアドミッション・ポリシーの周知徹底が必ずしも十分ではないので、改善の余地がある。

(3) 基準4の自己評価の概要

入学選抜の全ての段階（準学士課程1年生、準学士課程3年生または4年生編入学、専攻科課程）においてアドミッション・ポリシーは明文化されており、学生募集要項やウェブサイトに掲載され、社会に対して広く公表されている。また、中学校訪問や進学説明会等においても準学士課程のアドミッション・ポリシーを説明し、周知が図られている。アンケート結果から常勤教員の周知度が比較的高いものの、非常勤教員や事務職員、技術職員の周知度が十分ではないので、さらなる周知の徹底を図る必要がある。

準学士課程の学力選抜については、これまで、数学の配点を2倍にする「傾斜配点」や面接を行ってきたが、より本校に適性のある入学者を確保するという観点から、平成24年度より傾斜配点と面接の代わりに、学力検査に社会を含めて実施する予定である。さらに、調査書記載事項（特別活動の実績等）を点数化する際にもアドミッション・ポリシーを反映している。準学士課程の推薦選抜については、面接での口頭試問の内容及び調査書記載事項の点数化にアドミッション・ポリシーを反映しているほか、適性試験を実施してより確実な反映を図っている。高校からの編入生については、受入れ方針の各項目を試験問題等へ反映させている。専攻科選抜については、選抜の基本方針を面接・筆記試験・口頭試問の各方法に反映している。

入試方法の改善については、アドミッション委員会および専攻科入試実行委員会において、各年度の入学試験について準備から段階的に検討が重ねられており、前年度の検証・反省を活かして改善策を講じている。

準学士課程においては、入学定員と実入学者数との関係は適正に管理されている。専攻科課程において実入学者数が定員を超えている専攻があるが、これは同専攻を志願する者に比べて定員が僅少（8名）であるためであり、専攻科全体では平均1.4～1.7倍程度である。教育活動上特段の支障を生じていない。広報活動として1日体験入学や高専祭での体験授業、各地での進学説明会を実施し、入学定員と実入学者数との間に大きな乖離が生じないように努めている。また、入試広報用冊子「NCT Today 2010」を1万2千部、入試広報用リーフレット「NCT Today INTRODUCTION」を6万8千部作成して県内外の中学校に送付し、中学生への周知を図っている。

